

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 2 月 28 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (2/28 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h	17.4	107.2 kPa abs	A系： 0.31 vol %
		給水系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.34 vol %
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.4 m ³ /h	30.9	6.12 kPa g	A系： 0.03 vol %
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.04 ² vol %
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.5 m ³ /h	30.2	0.26 kPa g	A系： 0.15 vol %
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.16 ² vol %

*1: 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

*2: 電源工事に伴うデータ欠測のため、直近で計測できている 2/28 5時現在の数値を記載。

[2号機]・H25/2/20～2/22 [3号機]・H25/2/25～2/27

原子炉注水設備において、3月に給水系の信頼性向上工事を予定しており、工事時に給水系からの注水を停止する予定。工事を行う前に給水系からの注水を上記の期間一時停止し、炉心スプレイ系(CS)のみの注水を実施し、原子炉の冷却状態に有意な影響がないことを確認する。

H25/2/20 13:16 給水系の信頼性向上工事に伴い、2号機原子炉注水について、給水系からの注水量を約 1.9m³/h から 0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 3.4m³/h から約 5.5m³/h に変更。

H25/2/22 19:30 原子炉等の冷却状態に有意な変動の無いことを確認できたことから、2号機原子炉注水について、給水系からの注水量を 0 m³/h から約 2.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 5.5 m³/h から約 3.5 m³/h に変更。

H25/2/25 14:22 給水系の信頼性向上工事に伴い、3号機原子炉注水について、給水系からの注水量を約 2.0m³/h から 0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 3.5m³/h から約 5.5m³/h に変更。

H25/2/27 17:25 原子炉等の冷却状態に有意な変動の無いことを確認できたことから、3号機原子炉注水について、給水系からの注水量を 0 m³/h から約 2.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 5.5 m³/h から約 3.5 m³/h に変更。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (2/28 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	9.5
2号機	循環冷却システム	運転中	11.5
3号機	循環冷却システム	運転中	8.8
4号機	循環冷却システム	運転中	19

* 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウエルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

[2号機]・H25/3/1 使用済燃料プール代替冷却系について、当該系統の弁点検に伴い、3時間程度停止予定。

なお、使用済燃料プール水温は 11.6 (2/28 16:00 時点)であり、停止時のプール水温度上昇率評価値は 0.193 /hで、停止中のプール水温上昇は約1 と評価されることから、運転上の制限値 65 に対して余裕があり、使用済燃料プール水温管理上問題はない。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	2/28 14:02 ~ 移送実施中

・H25/1/28 東北地方太平洋沖地震により、建屋および屋外トレンチが浸水している5・6号機について、建屋内の水位上昇を抑制するため、建屋内滞留水の移送を継続しているが、更なる安全性向上に資することを目的として、非常用ガス処理系*1の屋外トレンチから仮設タンクへの滞留水の移送を開始。

*1 原子炉建屋内の空気を高性能のフィルターで浄化して排気筒より放出する系統で、(A)、(B)の2系列ある。

< 4 . 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (2/28 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

* フィルタの洗浄を適宜実施。

- ・H23/6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。
- ・H25/2/28 8:00 電源工事に伴い、第二セシウム吸着装置(サリー)を停止。

< 5 . その他 >

- ・H23/10/7 ~ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/4/25 ~ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- ・H25/1/8 ~ 4号機燃料取り出し用カバーのクレーン支持用架構および燃料取扱機支持用架構の鉄骨建方を開始。
- ・H25/2/25 ~ 2/28 2号機TIP(移動式炉内計装系)案内管の健全性確認を実施。
- ・H25/2/25 9:20 頃 福島県広野町にある協力企業の資材置き場において、3号機原子炉建屋カバー設置の準備作業に従事していた協力企業作業員が体調不良を訴えたことから、Jヴィレッジの診療所へ搬送。当該作業員については、Jヴィレッジの診療所において、一時、心肺停止状態が確認されたことから、9:35 に救急車を要請。その後、心臓マッサージにより、同日 9:54、当該作業員の脈拍は回復。また、10:10、救急車により当該作業員をいわき市立総合磐城共立病院へ搬送。その後、元請企業から 2/27 23:32 同作業員の死亡が確認された旨の連絡があった。
- ・H25/2/28 ~ 共用プール内に保管されている使用済燃料について、乾式キャスクへの装填の準備として、移動作業(共用プール内で配置を変更する作業)を開始。今後、6月頃まで順次実施する予定。

以上